

美しい山形・最上川フォーラム

第 42 回 清流・環境対策部会及び最上川文化・地域経済活性化部会

日 時 平成 30 年 11 月 22 日（木）13：00～

場 所 山形県村山総合支庁本庁舎 402 会議室

意見概要

次第 3 報告・協議

平成 30 年度部会事業実施状況報告

清流・環境対策部会

1 第 17 回身近な川や水辺の健康診断 了

【意見】

・川に少しでも興味を持ってもらいたいということで、白鷹町の蚕桑小学校の子供たちを巻き込んで 4 年前から鮭の稚魚の放流を行っている。4 年後に戻ってくる命のすばらしさと世界水域のすばらしさを体験してもらいたいと計画して毎年行っている。放流は大鮎貝川の出口のある最上川の睦橋で行っているが、なかなか戻ってこない。釣り人がいたので、情報を聞いてみたところ、最近ブラックバスがすごく増えているとのことであった。そこで最近、釣った魚を内水面試験場に研究依頼したところ、体長 38 センチ、5～6 才のコクチバスだという結果をいただいた。また、消化も早く常に大量の魚を食べていかないとダメな魚のようである。次の世代に自然環境を渡す我々としても何とか対策を立てないといけないと思った。横軸を広げて手を携えて何とかしたいと考えているので、最上川フォーラムとしても縦軸に伝え、この対策に結び付けていただけないものかと考えているのでご理解とご協力をお願いしたい。

⇒今年度から水辺の健康診断の調査の報告事項の中で外来種（動物、植物）の情報提供（見つけたら、話を聞いたというレベルであるが）を始めた。この報告は専門家が同定してくれているので、学術データとなるものである。県と情報を共有して進めていくのが良いかと思う。フォーラムが事業主体となるということではなく、県民全体の問題としていくことではないかと思う。これから運営委員会や部会で議論していきたい。

⇒他県では獲った外来魚を行政で買っているところもあるという話を聞いたことがある。山形県でもとはいかないと思うがそのような観点からも含め検討していきたい。

・清流にはコクチバス、湖沼にはオオクチバスが多く分布しているらしい。釣ったものを買い上げるといふことのほかに、釣り好きの方に対し日時場所を決めて、釣ったブラックバスを食べてみようという企画を発信し、駆除を促進していくのも一つ方法かと思うがいかがだろうか。

・食べるのは決して悪いことではないと思うが、最上川を次世代につなげるという点からは外来種なので日本古来の食の文化ではなく、夢がないような気がするので切り離して考えてもらえたらと思う。みなさんと十分に考えながらやっていくのが大切だと思う。

⇒このような情報提供をいただいて、実態はどのようになっているか、本流も支流も手を付けられない状況だとすれば現状を受け入れていかないといけないことにもなるので、きちんとした調査は行政からやってもらうのがありがたい。

・川にはいろいろな生物がいるが、最近でも大きな川・沢ガニなども見つかる場所もまだまだあるので、基本的には従来の川に戻すべきではないのかと思う。

⇒外来種の情報提供を始めた動機はこれまでの生態系を守る観点からである。食べる食べないは別として目的は一緒だと思うので共有はできるのではないだろうか。

⇒フォーラムとしては、アユなどを放流しているところから外来種の実態を聞いて、一般の県民の方へホームページなど伝達手段を持って情報提供するのが最初ではないかと思う。釣人や内水面の人たちとは地域部会がコンタクトあると思うので、地域部会で聞いて事務局へ出してもらい、山形県内の外来魚の状況として情報提供する。それを受けて、内水面の漁協や地元の人たち、県などが何かしたいとなればそれを聞いて、連携して具体的に何をしようか考えるのが次のステップだと思う。

・置賜白川の流域である自分のところでは、あわせてハヤ（ハヨ）の生息が極端に減ってきている。子供たちと毎年行ってきた「ハヨ祭り」もできなくなった。河川のゴミももちろんであるが、生息している魚やカニなどがどういう状況になっているのか非常に気になる。地元の漁協の人も気にしている。点で調べるということは限界があるので、網をかけて生態調査ができるようなことと連携してやっていかなくてはならないのかと思っている。今後、漁協や県との連携はどのような可能性があるのか。

⇒フォーラムはこちらから県や漁協に対して、このようにしようなど言う段階ではないと思う。いろんな情報が上がってきて課題を解決しなければならないという動きが出てくると、県も関心を持つようになるのではないだろうか。そうなった時に動き出して、県や漁協と話し合いをする形だと考えている。より多くの県民に対して現状を知らせるのが、さしあたってのフォーラムの活動ではないか。それで終わりではなく、そして何かしたいということが出てきたら動きたい。我々の団体は、先頭に立って何をすべきかと動かす団体ではなく、県民が考えて何かしたいという声があれば、それを拾ってまとめて一緒に進むというのが活動であると思う。その時にこの部会などで検討し、予算があれば進めていくという方向であると考えている。

⇒フォーラムのホームページに投稿フォームがあるので、情報はそちらにいただければ、早めに対応や、部会や運営委員会の議題にも挙げることもできる。フォームへの投稿、または電話やFAXなどでも情報をいただくこともできるのでご協力をお願いしたい。

・先ほど見てもらった調査結果では何を食べているのかが見えていなかったなので、今後自分たちは、釣った魚を内水面試験場に持って行って何を食べているかもあわせて情報を積み上げていろいろ届けていけるよう頑張りたい。また、皆さんからも機会があれば情報提供をお願いしたい。

⇒フォーラムで情報を提供するにあたっては、調査結果の調査票をフォーラムのホームページに載せて良いという許諾がないと難しい。情報いただいたもので、一番わかりやすいのは調査票そのものをホームページに掲載して情報発信することなので、これから内水面試験場とも協力関係でやっていかれる際に、そこも踏まえて交渉していただきたい。また、調査票には日時、場所なども記載して欲しい。

⇒この問題については、来年度の施策にどのような形で進めていくかは検討して、何らかの方法で取り組んでいきたい。

- 2 第16回美しいやまがたクリーンアップ・キャンペーン 了
- 3 ゴミ発生源対策「捨てない・すてさせない in 最上川」 了
- 4 報告書「笑顔を写す山形の川」 了
- 5 広報啓発 了

最上川文化・地域経済活性化部会

1 最上川夢の桜街道づくり 了

【意見】

・樹木医の派遣について、市町村に要望調査をして返ってきたのが少ないような気がするが、関心を持っていないということではないのだろうか。

⇒関心を持っていないわけではない。市町村から各地域で活動している団体へお声がけをいただく

形を取って回答くださっている。今年度は昨年度どのようなことを実施したかという内容など資料も付けて要望調査を行った。現状はこのような状況ではあるが、昨年度よりは問い合わせなども増えている。

- 2 「夢の桜街道～さくら物語～」の発行 了
- 3 夢の桜街道キャンペーン 了
- 4 写真コンテスト受賞作品写真展 了
- 5 ホームページの更新 了
- 6 地域おこしの紙芝居作成 了
- 7 最上川流域活動団体のデータベース化

地域部会

- ◇置賜地域部会 了
- ◇村山地域部会 了

【部会長より追加】

- ・村山市で紙芝居づくりを検討しているが、11月27日（火）にも村山市教育委員会へ訪問し情報収集と支援をお願いしていく予定。当日に行くことになっている置賜地域部会と情報を交換しながら進めていきたい。

- ◇最上地域部会 了
- ◇庄内地域部会 了

総会・運営委員会・部会

- ・通常総会の開催 了
- ・運営委員会の開催 了
- ・合同部会の開催 了

その他 委託事業・助成事業・連携事業など

- 1 平成30年度川～海をつなぐ「美しい元気な山形づくり」業務委託
- 2 山形市コミュニティファンド補助事業
- 3 水環境保全助成事業
- 4 「東北夢の桜街道」寄付金
- 5 スポ GOMI 大会協賛
- 6 山形県海岸漂着物対策推進協議会への参加
- 7 全国川ごみネットワークへの参加
- 8 東北・夢の桜街道推進協議会としての「東北・夢の桜街道～桜の札所・八十八ヵ所巡り」の推進
- 9 各種助成事業・基金への応募や寄付などの獲得、その活用を行う。

次第4 その他

【情報提供】

- ・「平成30年度やまがた NPO 活動促進大会」の資料を差し上げている。資料の通り11月30日（金）に開催される。「やまがた社会貢献基金助成事業報告会」では当フォーラムも29年度に助成を受けた事業で報告をする。ほかに県民活動セミナーなどもあるので参加して欲しい。